

## 第16期第7回常任理事会

## 議 事 録

日 時 昭和46年3月8日(日) 15.00~19.00

場 所 気象庁予報部会議室

出席者 大田, 関口, 川村, 大井, 北川, 小平, 神山,  
伊藤, 駒林, 関原, 藤原, 各常任理事

列席者 中村庶務委員

報 吾 抜粋

[庶 務]

1. 2月27日, 第8回理工学における同位元素研究発表会運営委員長から同発表会の仮プログラムを添え周知方の依頼がきた。

2. 3月2日, イーストウエストセンター在日事務所からハワイ大学大学院課程で研究するアジア太平洋地域の学生に対し, 1972年度奨学金の募集がきた。メ切4月30日(結果 気象学講座をもっている各大学へ写を送付する)

[ノート]

No. 106は2月28日に発行した。No. 107は4月中頃に発行の予定。編集費の増額は No. 107から実施となった。

[講演企画]

春季大会シンポジウムの座長および話題提供者とその講演題目の報告。

[学術会議]

1. 沖縄の科学者に選挙権を与えることについて政府に要望中のところ実施の見込みがつき法案を整備中。

2. 70年代の気象学のあり方(気研ノート No. 106)を運営審議会付置の70年代の科学技術に関する小委員会および第4部付置の委員会から寄贈してほしいと要望があった。(結果)寄贈する。

3. 石川県科学者会議から公害委員会あてに内灘の火力発電所に関する気象調査に関し疑義のある旨申出があった。

[長期計画]

委員の担当をきめ, その担当委員がおのおのサブグループをつくり, 春季大会までに報告案をまとめる。

[藤原賞]

2月12日委員会を開き選考して理事長に報告した。

議 題

1. 総会の準備について

(1) 総会提出議題について

国際放射シンポジウムを日本気象学会が主催する件(理事会提出) 日本気象学会の国際交流に関する長期計画を立案する件(新田 尚会員提出)を提出議題とする。

(以上については全理事の意見をきくこと)

(2) シンポジウムは, 第1日目の13時~17時とする。

(3) 会場費, 参加費などの呼称を統一する(次回持越し)

(4) 理事長挨拶, 事業経過報告, 事業計画要綱は, 次の常任理事会で更に検討する。

2. 学会賞, 藤原賞候補者について  
各推選委員会から報告のあつた次の2件を適当と認め全理事に対し可否の投票をせしめよう。

学会賞

超音波風速温度計の開発とそれによる大気乱流の研究

光田 寧(京都大学防災研究所)

藤原賞

日本における気候学研究とその体系化および気候教育に貢献した業績

福井英一郎(東京教育大学, 名誉教授)

3. 秋季大会の大会費について  
会場費等に多数の経費がかかるので予算案作成の際に, 30万円にすることを検討する。

4. 外国文献集について

(1) 著者には1部贈呈する。

(2) 会員外は販売しない。購入したい者は会員になってもらう。

(3) 外国の場合は船賃を加えて全巻払込み制とする。

但し, 会員外の者に対しては別途価格を決定する。

5. 正野記念論文集の編集委員会について  
準備委員会の任務はほぼ終わったので理事長を委員長とし, 岸保理事を中心とし編集委員会を構成する。

6. 文部省科研費特定研究の題目について

岸保, 北川, 駒林, 神山理事で小委員会を作り検討する。

承認事項 通常会員牧野達美外7名の入会を承認する。